

目からウロコのピアノ指導法

～譜読みが苦手…は克服できる！先生も生徒も楽しみながら上達できるピアノレッスン～

ピアノが楽しく弾けるようになるために読譜力は必須。楽譜を見てスラスラ弾ければ練習は楽しいし、先生もレッスンで音楽的な指導に重点を置くことができます。とはいえ、「読譜力なんてそんなに簡単に身に付かないわ」と思っている先生も多いのではないのでしょうか。与える教材の「量」「スピード」「難易度」を変えてみませんか？たったそれだけで子供の読譜力は驚異的に伸びるのです。子供は楽しいこと、ワクワクすることが大好きです。そんな子供の特性に合わせたレッスンは、教材の与え方を変えるだけでいとも簡単にできるようになります。そして必ず、子供はピアノが大好きになります。先生も毎回のレッスンが楽しくなります。



- ☆「自ら感じて表現できる」音楽性を育てるには？
- ☆「自分の音を聴けない」子供が、聴けるようになる指導法とは？
- ☆「自然な形がテクニック向上に繋がる」本当に正しい姿勢とは？
- ☆「何度言っても良くならない」、姿勢や指の形や使い方を変える方法とは？

ピアノが大好きで練習が楽しい、気付いたらどんどん弾けるようになっていた、そんな子供を育てる魔法のピアノ指導法を、具体的にわかりやすく伝授いたします。

- ・誰でも身に付く「読譜トレーニング」とは？
- ・子供の特性に合った楽しいレッスンとは？
- ・レッスンは毎日がコンサート

「読譜トレーニング」で紹介している教本

- みんなのオルガン・ピアノの本①②&全曲伴奏集
- トンプソン はじめてのピアノ教本①
- ちいさな手のピアニスト①～⑤ …他多数



講師：馬場 マサヨ<講師プロフィール>

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

第31回全日本学生音楽コンクール西日本大会 高校の部 第2位。第53回読売新人演奏会（東京）に藝大生代表として出演。第1回 ウィーン音楽コンクール イン ジャパン第1位入賞。これまでに、NHK交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等のオーケストラと共演。室内楽の分野では、チェコフィル六重奏団、シュトゥットガルト・ゾリステンとも共演。親しみやすいレクチャーコンサートや、親と子の名曲コンサートなどを全国各地で行う。

著書に「目からウロコのピアノ奏法～オクターブ・連打・トリル・重音も即克服～」(ヤマハミュージックメディア刊)がある。

現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科教授、PTNA正会員。

●日 時：2018年1月17日(水) 10:30～11:30

●会 場：各務原 産業文化センター あすかホール

〒504-0912 各務原市那加桜町52-186

●テキスト：「目からウロコのピアノ指導法」

(注文番号：GTP01091970 定価 [1,500円+税])

★テキストは事前に販売致します。また、当日予約も受け付けます。

●受講料：ピアチェーレ会員無料